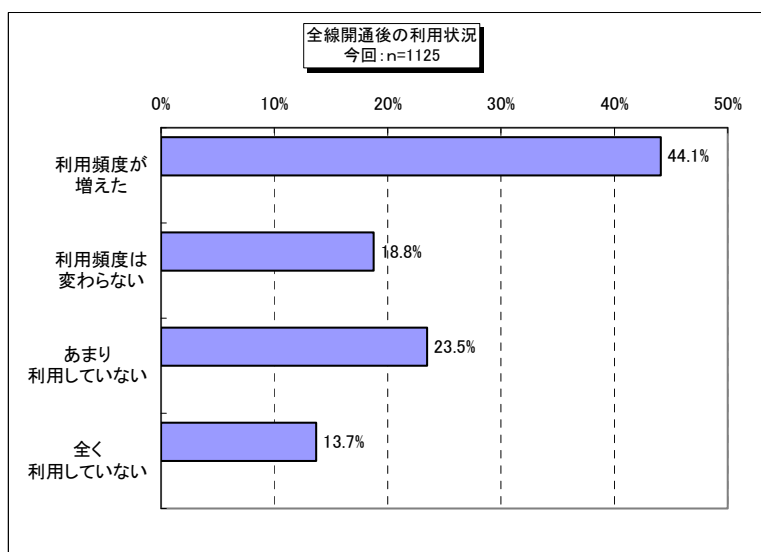


「全線開通から2年 北関東自動車道に関する調査」

～全体の約4割強が利用増、経営にもプラス影響～

◆北関東自動車道の利用状況

- ・ 北関東自動車道（以下、北関東道）の全線開通に伴う利用状況の変化について、「利用頻度が増えた」とする企業が44.1%と最も多く、全線開通の効果が大きいことが確認された。
- ・ 地域別にみると、「群馬県」、「栃木県央」、「栃木県南」にある企業の利用頻度が増加している。



◆全線開通による経営への影響

- ・ 全線開通による経営への影響については、プラスの影響を受けた企業が全体の約4割となった。一方、マイナスの影響は、2%弱にとどまった。

◆プラス影響

- ・ 「納品、出張時などの時間短縮」が75.2%と突出して多く、次いで「商圈拡大による取引（顧客）の増加」31.4%、「物流の見直しにともなう効率化」29.6%となった。
- ・ 取引等が増加した地域は、栃木県の企業では「茨城県」、「群馬県」。群馬県では「栃木県」、「茨城県」。茨城県、埼玉県では「栃木県」での取引が増加している。

◆圏央道開通による北関東道の利用

- ・ 今後、圏央道が開通した場合の北関東道の利用状況については、これまでと「変わらない」が73.3%、「増加する」が25.9%となり、北関東道にとってもプラスの効果が期待できそうだ。

<調査の概要>

- (1) 調査時期 平成25年1月中旬～2月上旬
- (2) 調査方法 当社実施「あしぎん景況調査」の特別質問
- (3) 調査対象企業 足利銀行の営業地域（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県他）の企業
1,888社
- (4) 企業規模区分 従業員数にて規模を区分
大企業……製造、建設、運輸は300人以上、
卸売、サービスは100人以上、小売は50人以上
中小企業…上記未満
- (5) 有効回答企業数 1,121社（回答率 59.4%）
- (6) 回答状況 下記のとおり

回答状況		対象企業数	有効回答数	有効回答率	構成比
全体		1,888	1,121	59.4%	100.0%
企業規模	大企業	441	261	59.2%	23.3%
	中小企業	1447	860	59.4%	76.7%
地域	栃木県央	373	251	67.3%	22.4%
	栃木県南	413	256	62.0%	22.8%
	栃木県北	189	119	63.0%	10.6%
	群馬県	354	213	60.2%	19.0%
	茨城県	123	66	53.7%	5.9%
	埼玉県	358	188	52.5%	16.8%
	その他	78	28	37.3%	2.5%
業種	製造業	805	475	52.8%	41.2%
	大企業	104	70	53.0%	11.6%
	中小企業	701	405	52.7%	88.4%
	飲・食料品	83	53	44.6%	9.0%
	繊維品	42	24	51.0%	5.7%
	木材・木製品	26	14	44.8%	2.8%
	紙・パルプ	27	18	48.1%	2.8%
	化学品	25	12	50.0%	2.8%
	プラスチック	50	34	72.2%	8.5%
	窯業・土石	38	27	53.8%	4.6%
	鉄鋼・非鉄	57	30	55.0%	7.2%
	金属製品	88	44	49.5%	10.3%
	一般機械	84	56	58.9%	11.6%
	電気機械	91	49	59.2%	12.7%
	輸送用機械	78	51	52.4%	9.4%
	精密機械	48	26	47.1%	5.2%
	その他	68	37	45.9%	7.4%
	非製造業	1,083	646	57.3%	58.8%
	大企業	337	191	55.8%	30.3%
	中小企業	746	455	58.0%	69.7%
建設	229	149	63.3%	23.2%	
卸売	207	129	51.4%	17.1%	
小売	214	114	54.4%	18.8%	
運輸	153	95	60.4%	15.1%	
サービス	280	159	57.3%	25.7%	

四捨五入により合計は100にならない。

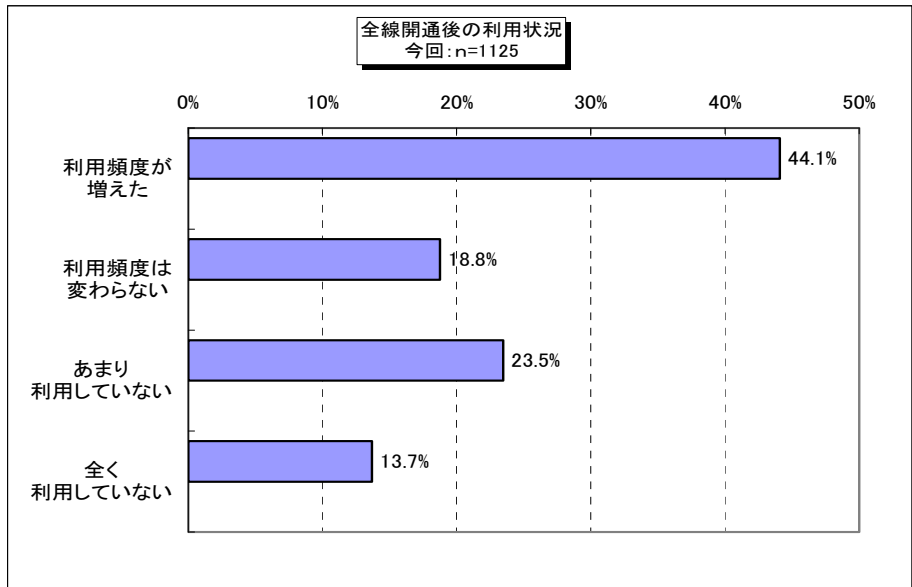
<栃木県内の分け方>

- ・ 栃木県央：宇都宮市、鹿沼市、高根沢町
- ・ 栃木県南：足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市、上三川町、西方町、
茂木町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、野木町、岩舟町
- ・ 栃木県北：日光市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、
那珂川町

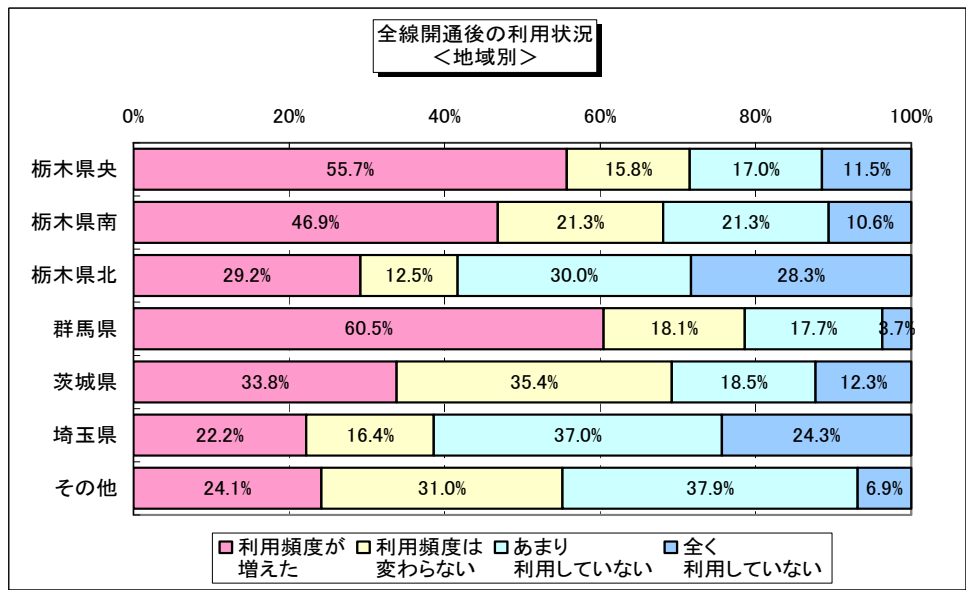
※ 対象企業が、足利銀行の営業地域となっているため、栃木県外の群馬県、茨城県については、北関東道沿線地域の企業が多くなっていることに注意を要する。

1. 北関東自動車の利用状況

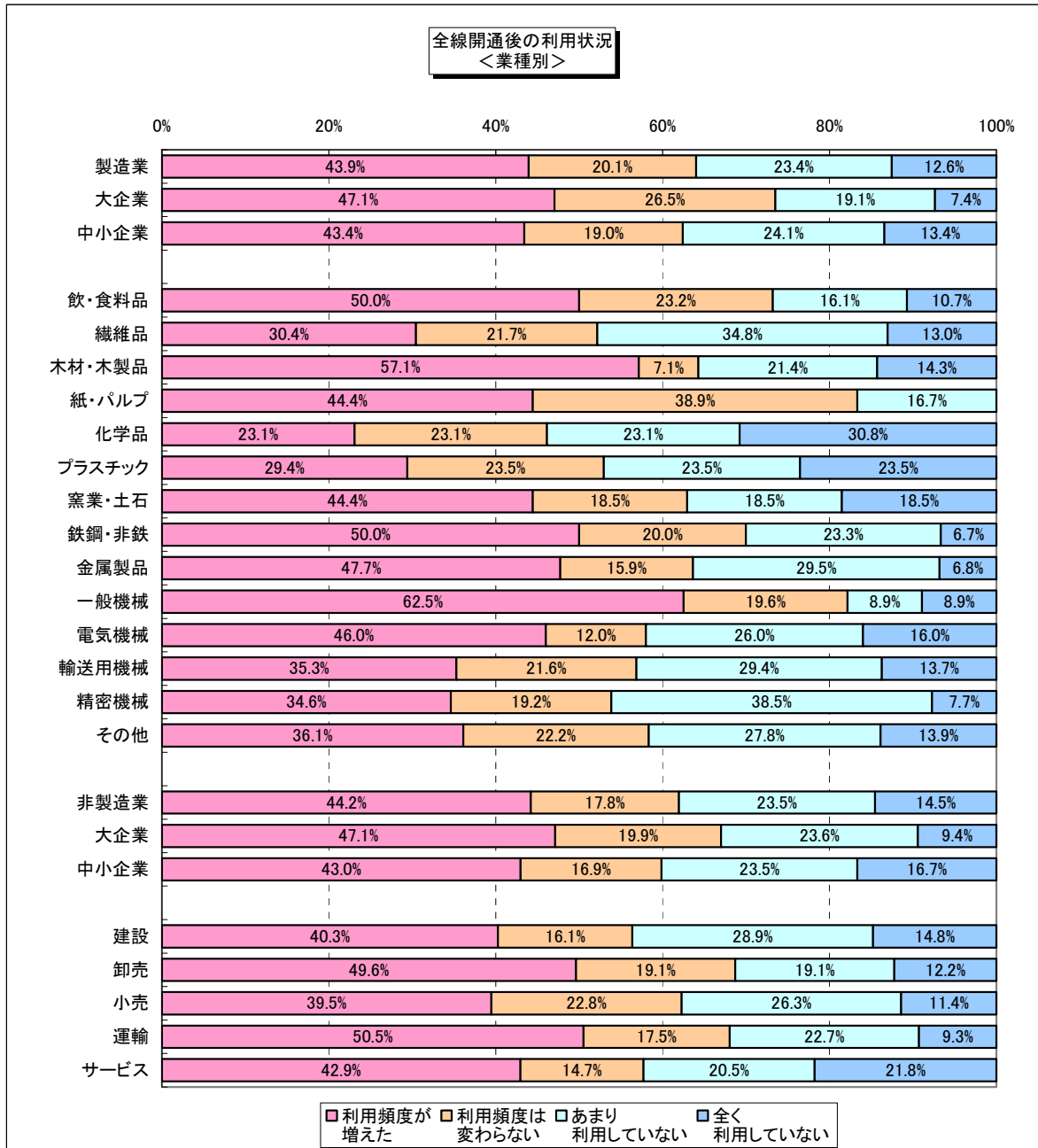
- ・ 北関東自動車道（以下、北関東道）の全線開通に伴って企業の利用状況に変化があったかどうか聞いた。
- ・ 「利用頻度が増えた」が44.1%と最も多く、全線開通の効果が大きいことが確認された。また、「利用頻度は変わらない」（18.8%）も含めると、全体の利用状況は62.9%と6割以上の企業が北関東道を利用している。



- ・ 地区別にみると、全線開通によって利用頻度が増えたのは、「群馬県」が60.5%と最も多く、次いで「栃木県央」55.7%、「栃木県南」46.9%となっている。
- ・ また、先行して開通していた茨城県では「利用頻度は変わらない」（35.4%）と回答している企業が多くなっている。
- ・ 距離的に遠い「栃木県北」、「埼玉県」は、利用割合が低くなっている。

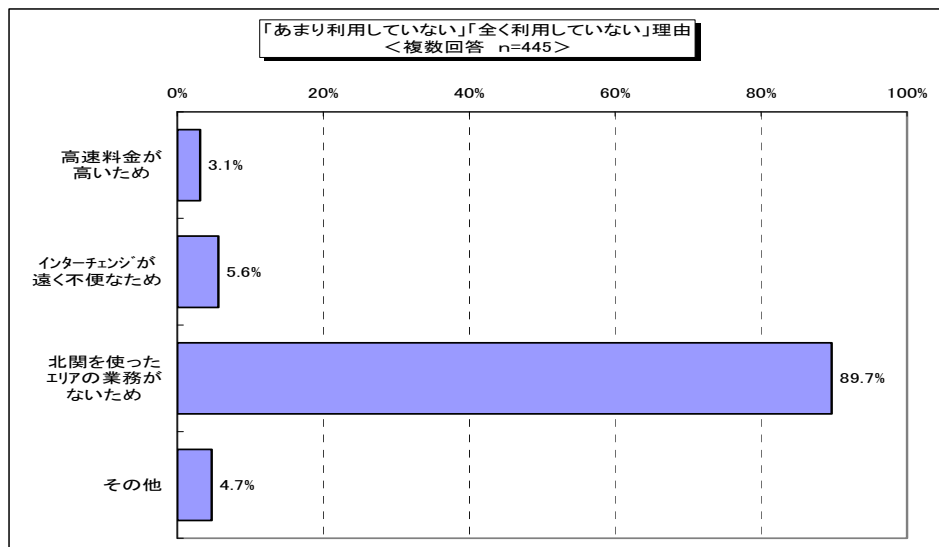


- ・ 規模別にみると、製造業、非製造業ともに、利用頻度は大企業の方が高くなっている。中小企業の営業エリアが、大企業に比べると狭いためと思われる。
- ・ 業種別に細かくみると、「利用頻度が増えた」のは、製造業では、「一般機械」、「木材・木製品」、「飲・食料品」など。非製造業では、「運輸」、「卸売」など。
- ・ 非製造業では、サービス業で「全く利用していない」が比較的多く、地域密着型の業種が多いためと考えられる。

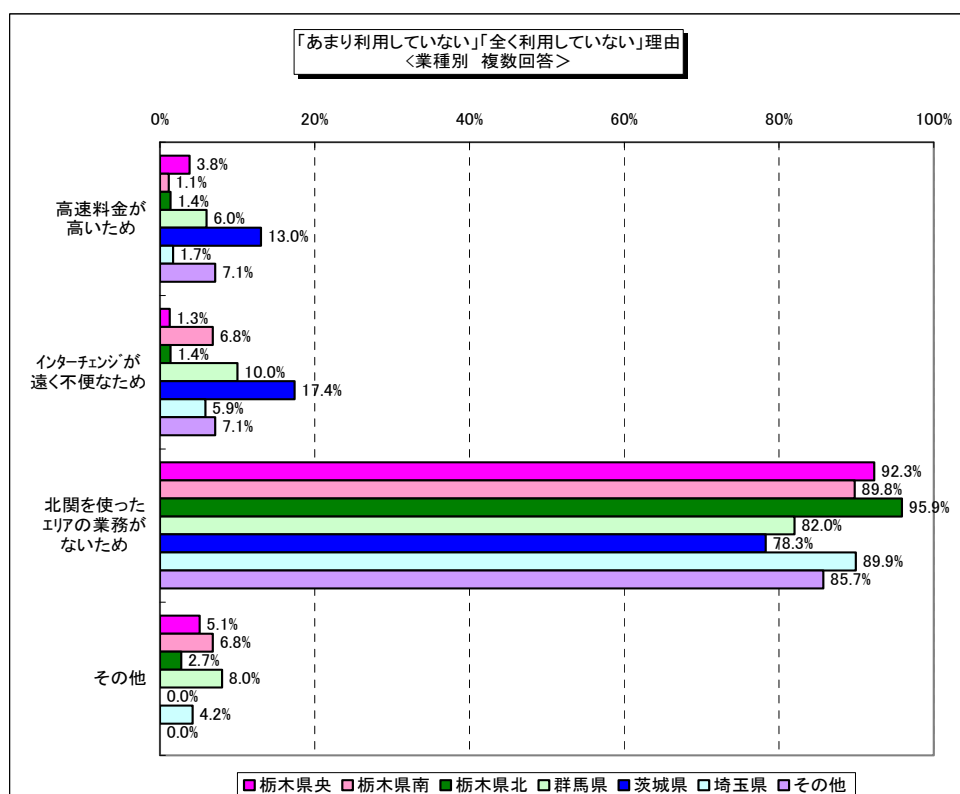


2. 北関東道を「利用していない」理由

- ・ 前問で「あまり利用していない」「全く利用していない」と回答した企業に、その理由を聞いたところ、「北関東道を使ったエリアの業務がないため」（89.7%）が約9割を占めた。
- ・ また、「インターチェンジが遠くて不便」（5.6%）、「高速料金が高いため」（3.1%）の回答も、わずかながらみられた。



- ・ 地域別にみると、「北関東道を使ったエリアの業務がないため」と回答した地域では「栃木県北」（95.9%）が最も高く、次いで「栃木県央」（92.3%）と、ともに約9割の企業が回答している。
- ・ また、「茨城県」、「群馬県」では「インターチェンジが遠く不便なため」、「高速料金が高いため」が目立っている。



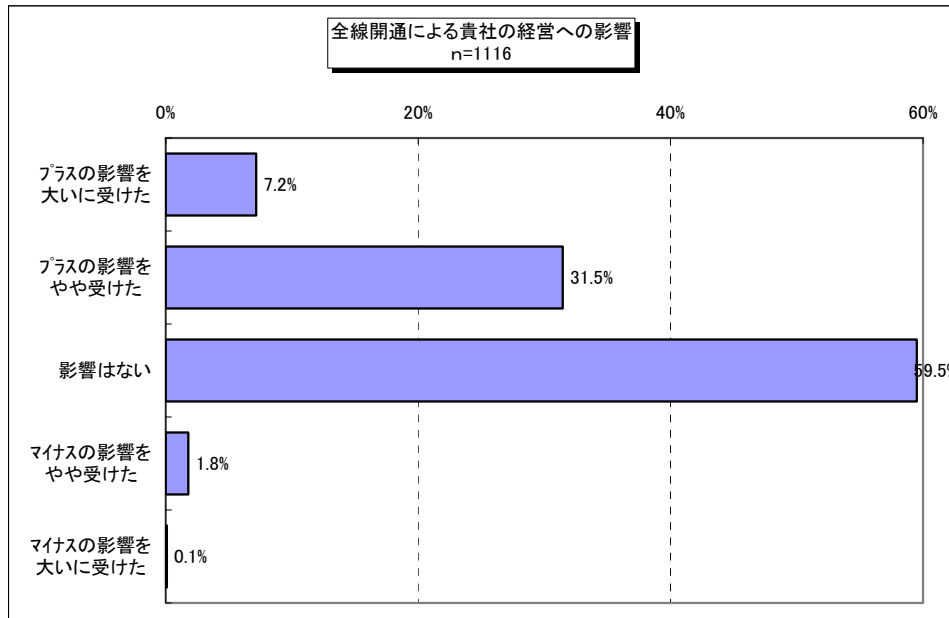
- 業種別にみると、製造業のほとんどは「北関を使ったエリアの業務がないため」(95.7%)と回答している。
- 業種別に細かくみると、非製造業の「運輸」、「小売」では、「高速料金が高いため」、「インターチェンジが遠く不便なため」という回答も目立った。

「あまり利用していない」「全く利用していない」理由 n=445

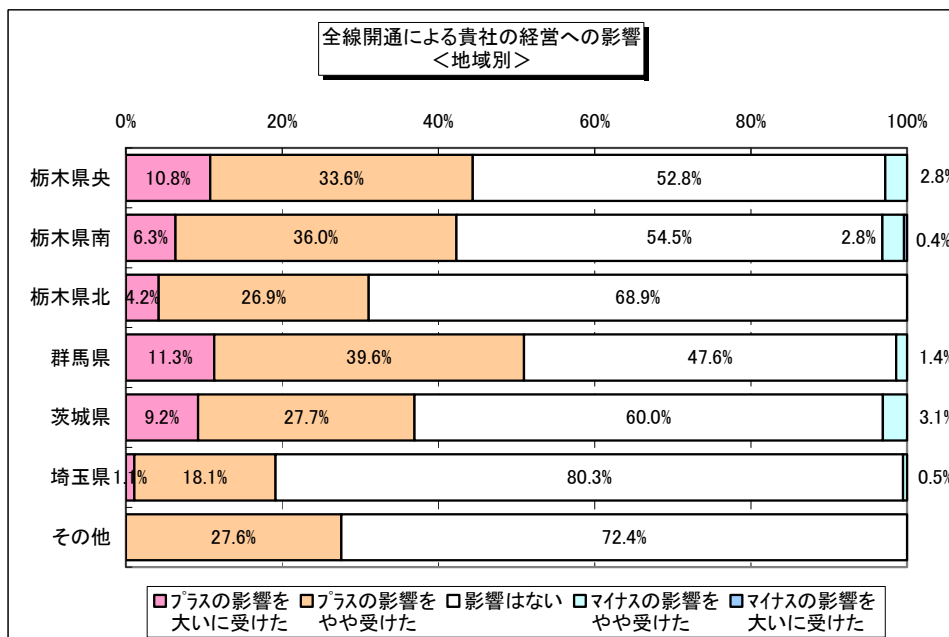
		高速料金が 高いため	インターチェンジが 遠く不便なため	北関を使った エリアの業務が ないため	その他
全体		3.1%	5.6%	89.7%	4.7%
企業規模	大企業	4.6%	6.9%	83.9%	6.9%
	中小企業	2.8%	5.3%	91.1%	4.2%
地域	栃木県央	3.8%	1.3%	92.3%	5.1%
	栃木県南	1.1%	6.8%	89.8%	6.8%
	栃木県北	1.4%	1.4%	95.9%	2.7%
	群馬県	6.0%	10.0%	82.0%	8.0%
	茨城県	13.0%	17.4%	78.3%	0.0%
	埼玉県	1.7%	5.9%	89.9%	4.2%
	その他	7.1%	7.1%	85.7%	0.0%
業種	製造業	1.6%	3.2%	95.7%	3.2%
	大企業	4.8%	0.0%	90.5%	4.8%
	中小企業	1.2%	3.6%	96.4%	3.0%
	飲・食料品	6.3%	0.0%	93.8%	6.3%
	繊維品	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	木材・木製品	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	紙・パルプ	20.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	化学品	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
	プラスチック	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	窯業・土石	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	鉄鋼・非鉄	10.0%	10.0%	60.0%	20.0%
	金属製品	0.0%	5.3%	100.0%	5.3%
	一般機械	0.0%	8.3%	91.7%	0.0%
	電気機械	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	輸送用機械	0.0%	4.3%	100.0%	0.0%
	精密機械	0.0%	0.0%	92.3%	7.7%
	その他	0.0%	12.5%	100.0%	0.0%
	非製造業	4.2%	7.3%	85.3%	5.8%
	大企業	4.5%	9.1%	81.8%	7.6%
	中小企業	4.1%	6.7%	86.5%	5.2%
建設	0.0%	6.0%	91.0%	3.0%	
卸売	2.4%	7.1%	88.1%	2.4%	
小売	9.1%	11.4%	81.8%	6.8%	
運輸	13.9%	8.3%	77.8%	5.6%	
サービス	1.4%	5.7%	84.3%	10.0%	

3. 全線開通による経営への影響

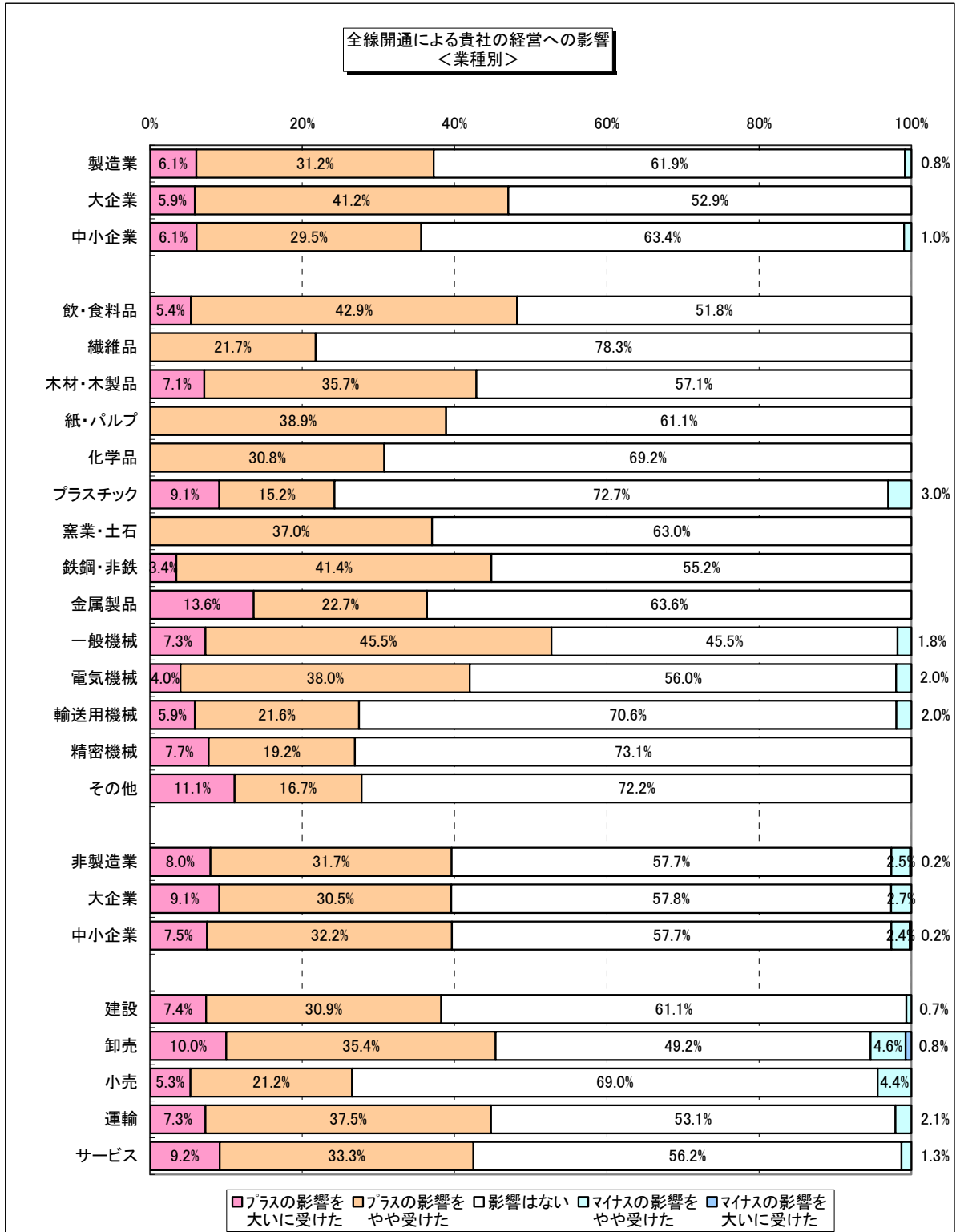
- 全線開通による経営への影響として、「影響はない」が 59.5%と約 6 割となったが、プラスの影響を受けたと回答した企業は 38.7%（「プラスの影響を大いに受けた」7.2%+「プラスの影響をやや受けた」31.5%）と約 4 割がプラスの影響となった。
- 一方、マイナスの影響を受けたと回答した企業は 1.9%、（「マイナスの影響を大いに受けた」0.1%+「マイナスの影響をやや受けた」1.8%）とわずかであった。



- 地区別では、「群馬県」、「栃木県央」、「栃木県南」、「茨城県」でプラス影響が多くなっているが、一方でマイナス影響の回答も同地区で散見されることから、競争激化や顧客流出なども生じたとみられる。

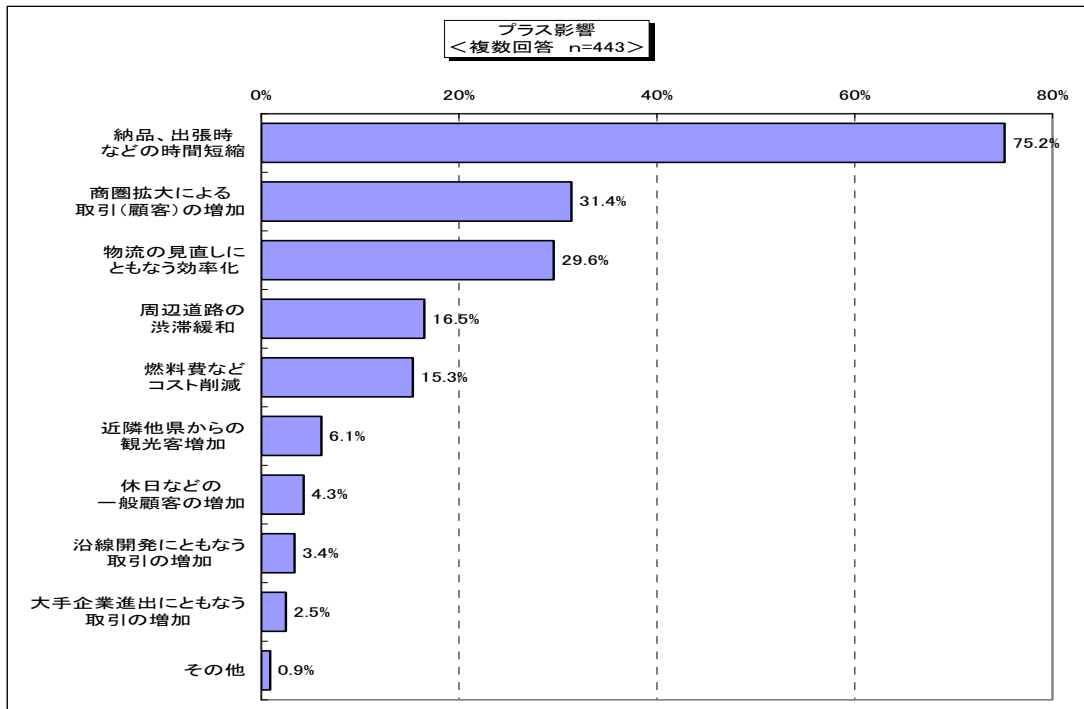


- ・ 規模別にみると、製造業の大企業（47.1%）でプラスの影響が多くなっている。
- ・ 業種別に細かくみると、非製造業では「卸売」（45.4%）、「運輸」（44.8%）、「サービス」（42.5%）でプラスの影響が高くなっている。
- ・ なお、「卸売」、「小売」では、マイナスの影響も比較的に目立っている。

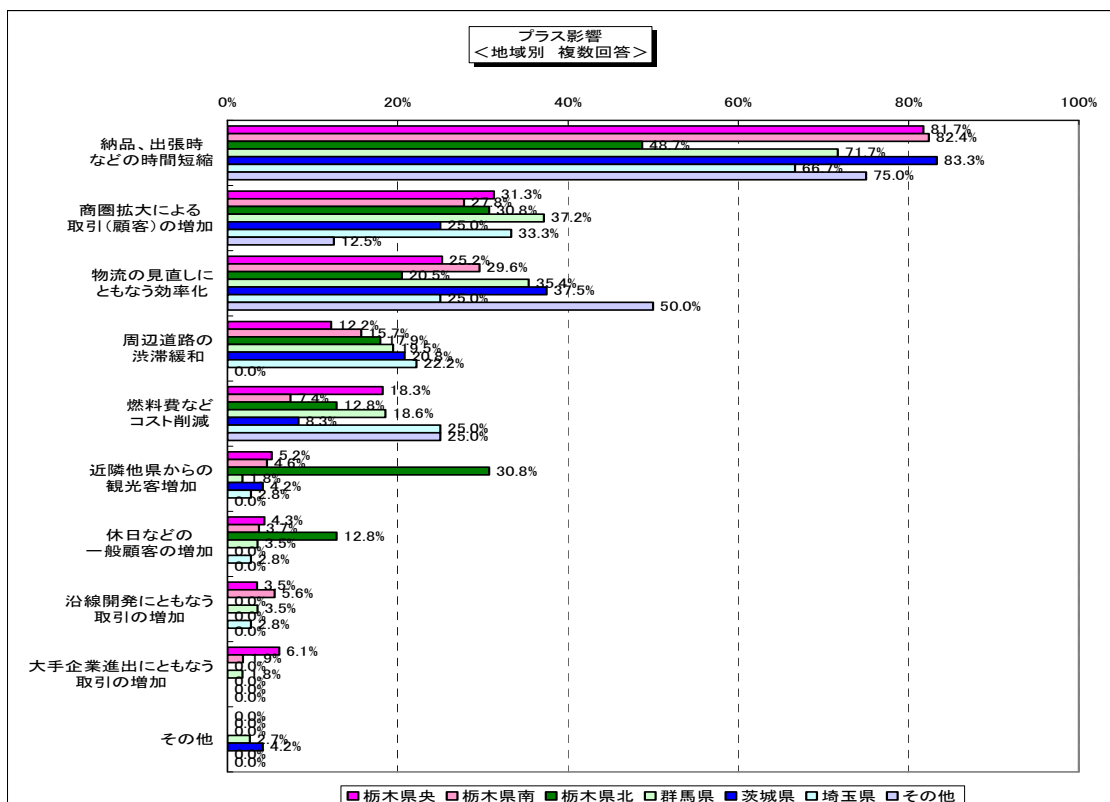


4. プラスの影響

- 具体的なプラス影響（複数回答）については、「納品、出張時の時間短縮」が75.2%と最も多く、次いで「商圈拡大による取引（顧客）の増加」（31.4%）、「物流の見直しにともなう効率化」（29.6%）、「周辺道路の渋滞緩和」（16.5%）などとなっている。



- 地区別については、「納品、出張時の時間短縮」は「茨城県」、「栃木県南」、「栃木県央」など沿線地域で指摘する声が多かった。
- また「栃木県北」では「近隣他県からの観光客増加」（30.8%）、や「休日の一般顧客の増加」（12.8%）の割合が、他の地域と比較して高くなっている。



- 業種別にみると、製造業では「納品、出張時の時間短縮」が多くなっており、非製造業では「商圏拡大による取引（顧客）の増加」が目立っている。

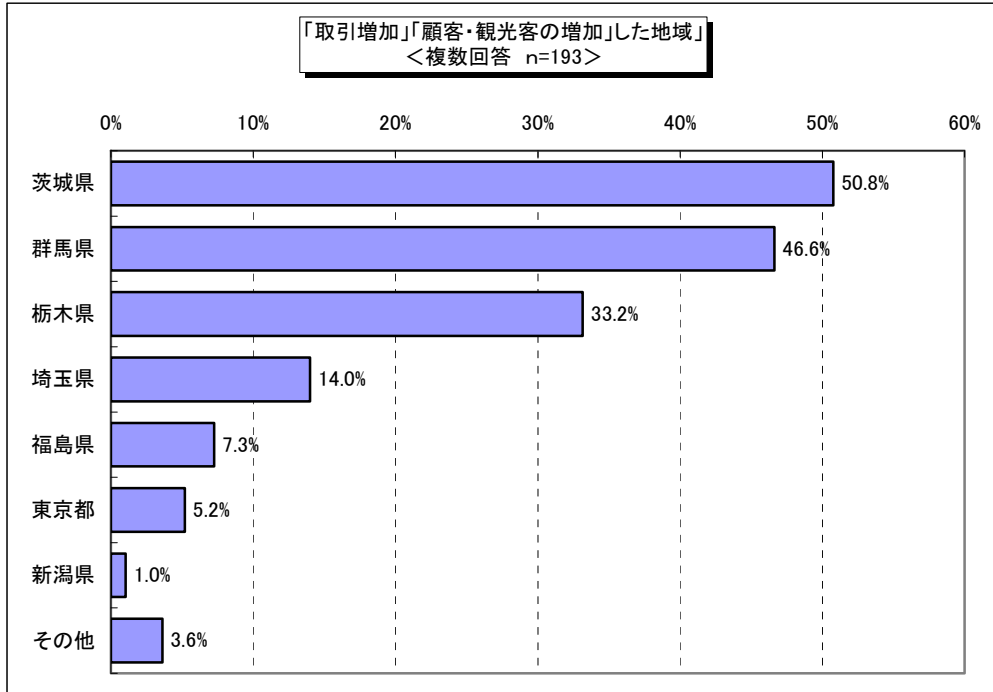
プラス影響 n=443

		納品、出張時などの時間短縮	商圏拡大による取引(顧客)の増加	物流の見直しにともなう効率化	周辺道路の渋滞緩和	燃料費などコスト削減
全体		75.2%	31.4%	29.6%	16.5%	15.3%
企業規模	大企業	75.0%	27.8%	33.3%	13.0%	16.7%
	中小企業	75.2%	32.5%	28.4%	17.6%	14.9%
地域	栃木県 央	81.7%	31.3%	25.2%	12.2%	18.3%
	栃木県 南	82.4%	27.8%	29.6%	15.7%	7.4%
	栃木県 北	48.7%	30.8%	20.5%	17.9%	12.8%
	群馬県	71.7%	37.2%	35.4%	19.5%	18.6%
	茨城県	83.3%	25.0%	37.5%	20.8%	8.3%
	埼玉県	66.7%	33.3%	25.0%	22.2%	25.0%
	その他	75.0%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%
業種	製造業	83.5%	21.4%	32.4%	15.9%	17.6%
	大企業	87.5%	3.1%	34.4%	15.6%	18.8%
	中小企業	82.7%	25.3%	32.0%	16.0%	17.3%
	飲・食料品	82.1%	21.4%	21.4%	25.0%	7.1%
	繊維品	100.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	木材・木製品	83.3%	0.0%	16.7%	33.3%	16.7%
	紙・パルプ	85.7%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%
	化学品	75.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	プラスチック	75.0%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%
	窯業・土石	70.0%	30.0%	50.0%	10.0%	10.0%
	鉄鋼・非鉄	71.4%	42.9%	35.7%	21.4%	14.3%
	金属製品	75.0%	31.3%	37.5%	25.0%	18.8%
	一般機械	93.3%	6.7%	36.7%	10.0%	30.0%
	電気機械	90.9%	22.7%	22.7%	13.6%	18.2%
	輸送用機械	86.7%	13.3%	46.7%	13.3%	26.7%
	精密機械	85.7%	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%
	その他	80.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	非製造業	69.3%	38.3%	27.6%	16.9%	13.8%
	大企業	69.7%	38.2%	32.9%	11.8%	15.8%
	中小企業	69.2%	38.4%	25.4%	18.9%	13.0%
	建設	74.1%	44.8%	15.5%	17.2%	17.2%
	卸売	83.6%	39.3%	31.1%	19.7%	9.8%
	小売	71.9%	37.5%	15.6%	6.3%	12.5%
	運輸	62.8%	14.0%	62.8%	23.3%	18.6%
	サービス	55.2%	47.8%	17.9%	14.9%	11.9%

		近隣他県からの観光客増加	休日などの一般顧客の増加	沿線開発にともなう取引の増加	大手企業進出にともなう取引の増加	その他
全体		6.1%	4.3%	3.4%	2.5%	0.9%
企業規模	大企業	6.5%	6.5%	1.9%	2.8%	0.9%
	中小企業	6.0%	3.6%	3.9%	2.4%	0.9%
地域	栃木県 央	5.2%	4.3%	3.5%	6.1%	0.0%
	栃木県 南	4.6%	3.7%	5.6%	1.9%	0.0%
	栃木県 北	30.8%	12.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	群馬県	1.8%	3.5%	3.5%	1.8%	2.7%
	茨城県	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
	埼玉県	2.8%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
業種	製造業	3.8%	1.6%	2.2%	2.7%	1.1%
	大企業	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
	中小企業	3.3%	2.0%	2.7%	3.3%	0.7%
	飲・食料品	21.4%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%
	繊維品	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	木材・木製品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	紙・パルプ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	化学品	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	プラスチック	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	窯業・土石	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	鉄鋼・非鉄	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	金属製品	0.0%	0.0%	6.3%	6.3%	0.0%
	一般機械	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%	0.0%
	電気機械	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	輸送用機械	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	精密機械	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	非製造業	7.7%	6.1%	4.2%	2.3%	0.8%
	大企業	6.6%	9.2%	2.6%	3.9%	0.0%
	中小企業	8.1%	4.9%	4.9%	1.6%	1.1%
	建設	0.0%	3.4%	12.1%	1.7%	1.7%
	卸売	6.6%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%
	小売	0.0%	21.9%	3.1%	3.1%	0.0%
	運輸	2.3%	0.0%	0.0%	4.7%	0.0%
	サービス	22.4%	10.4%	4.5%	1.5%	0.0%

5. 取引が増加した地域

- 前問で「取引（顧客）増加」、「観光客増加」と回答があった企業に、具体的にどこのエリアが増加したのかを聞いた。全体では、「茨城県」が50.8%と最も多く、次いで「群馬県」(46.6%)、「栃木県」(33.2%)となった。

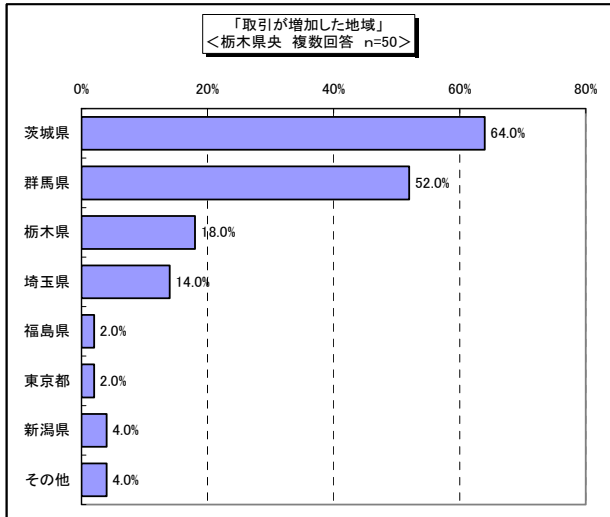


- 地域別にみると、「栃木県央」、「栃木県南」、「栃木県北」の企業はいずれも、「茨城県」と「群馬県」から増えたとする回答が多かった。
- 「群馬県」の企業は、「栃木県」が最も多く、次いで「茨城県」となった。
- 「茨城県」の企業は、「栃木県」が多い。
- 「埼玉県」の企業は、「栃木県」が突出して多くなっている。

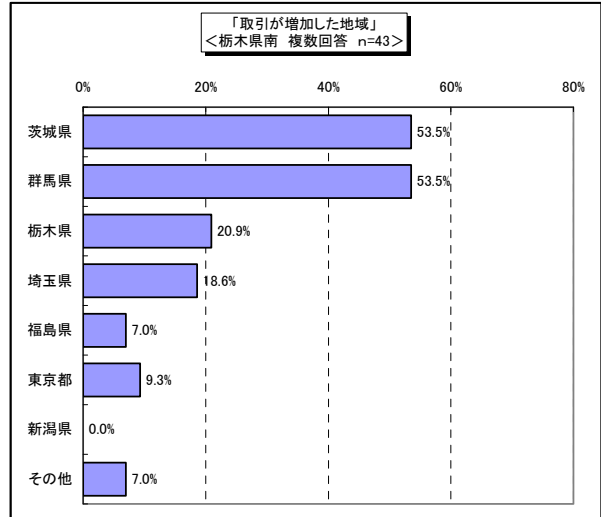
「取引増加」「顧客・観光客の増加した地域」(複数回答)

取引が増加した地域 企業の場所	茨城県	群馬県	栃木県	埼玉県	福島県	東京都	新潟県	その他
栃木県央	64.0%	52.0%	18.0%	14.0%	2.0%	2.0%	4.0%	4.0%
栃木県南	53.5%	53.5%	20.9%	18.6%	7.0%	9.3%	0.0%	7.0%
栃木県北	59.1%	68.2%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%
群馬県	47.1%	33.3%	54.9%	9.8%	13.7%	3.9%	0.0%	2.0%
茨城県	22.2%	22.2%	44.4%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%
埼玉県	17.6%	41.2%	70.6%	23.5%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%

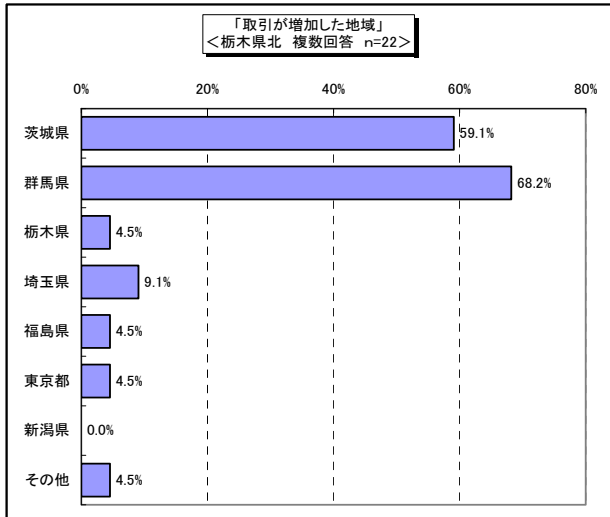
■ 栃木県央・・・茨城、群馬



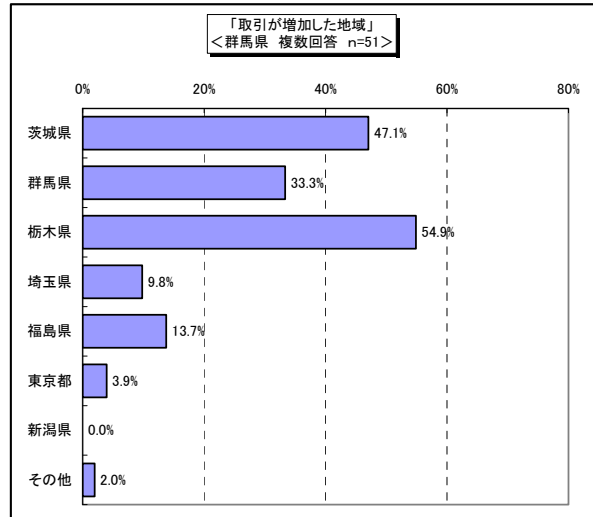
■ 栃木県南・・・茨城、群馬



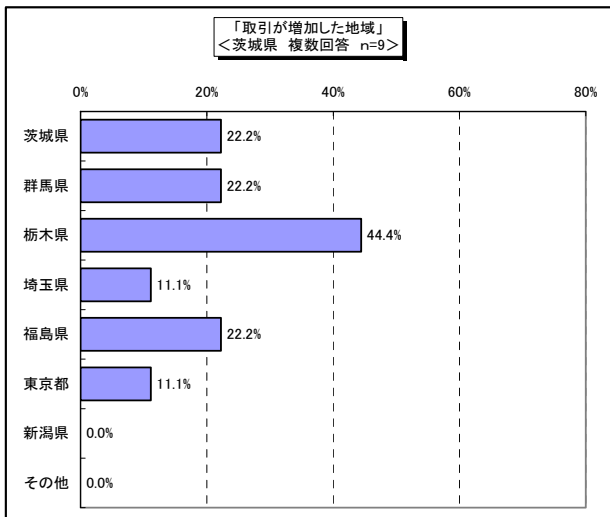
■ 栃木県北・・・群馬、茨城



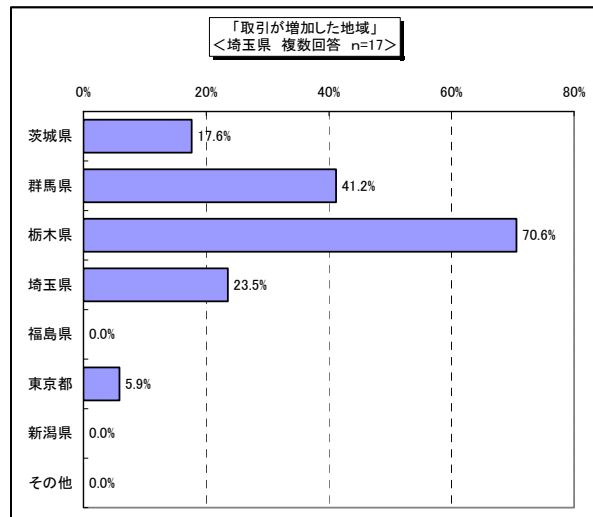
■ 群馬県・・・栃木、茨城



■ 茨城県・・・栃木

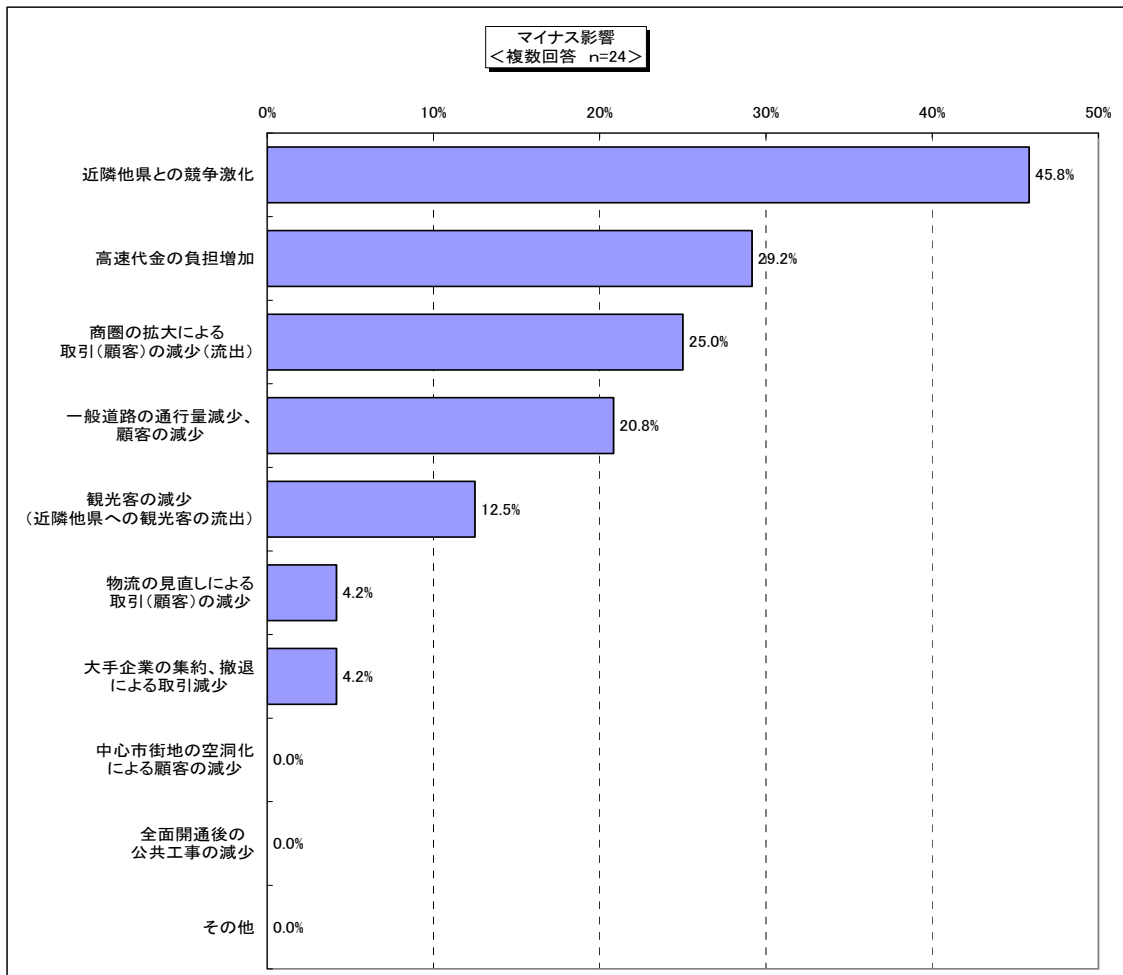


■ 埼玉県・・・栃木



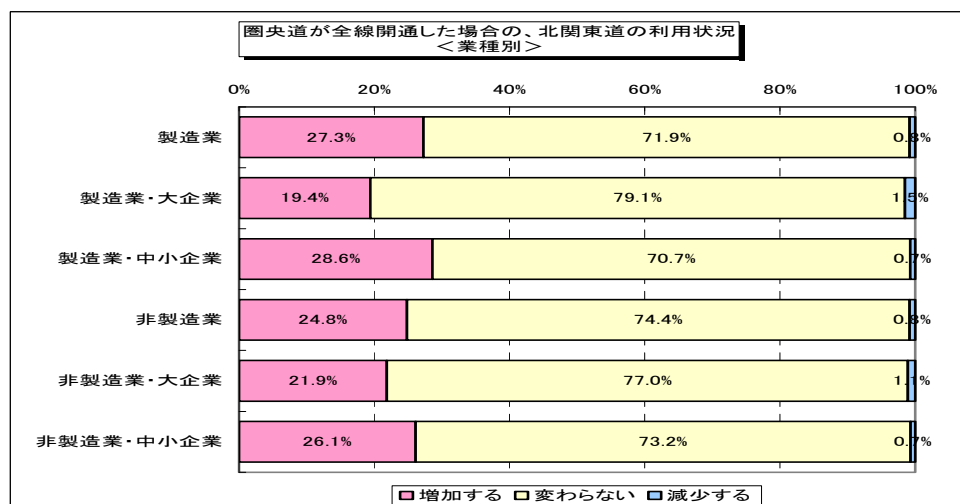
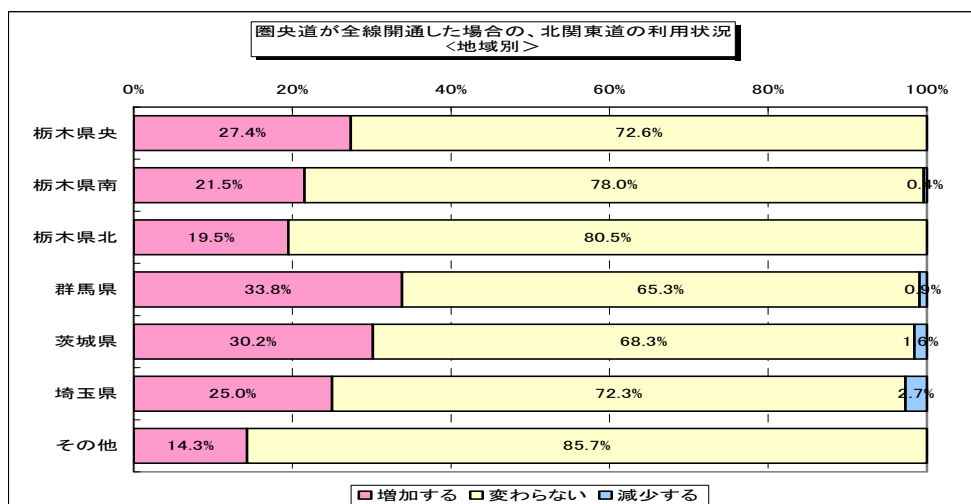
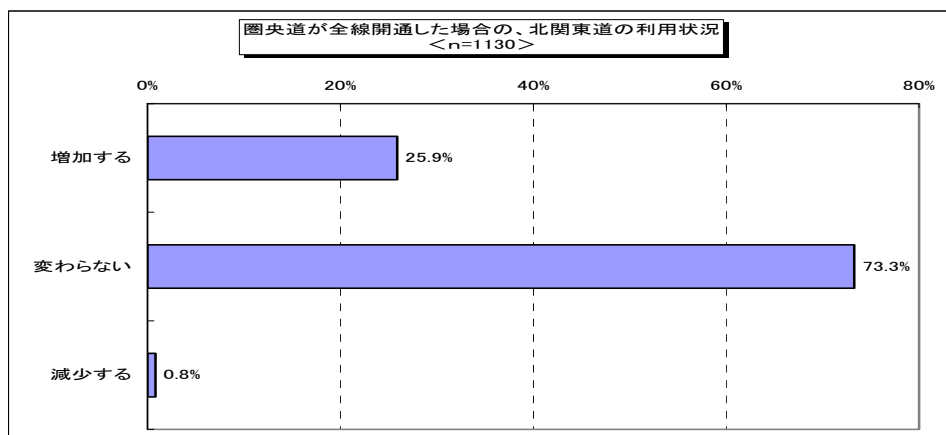
6. マイナス影響

- 具体的なマイナス影響（複数回答）については、「近隣他県との競争激化」（45.8%）が最も多く、次いで「高速代金の負担増加」（29.2%）、「商圈の拡大による取引（顧客）の減少（流出）」（25.0%）、「一般道路の通行料減少、顧客の減少」（20.8%）となっている。



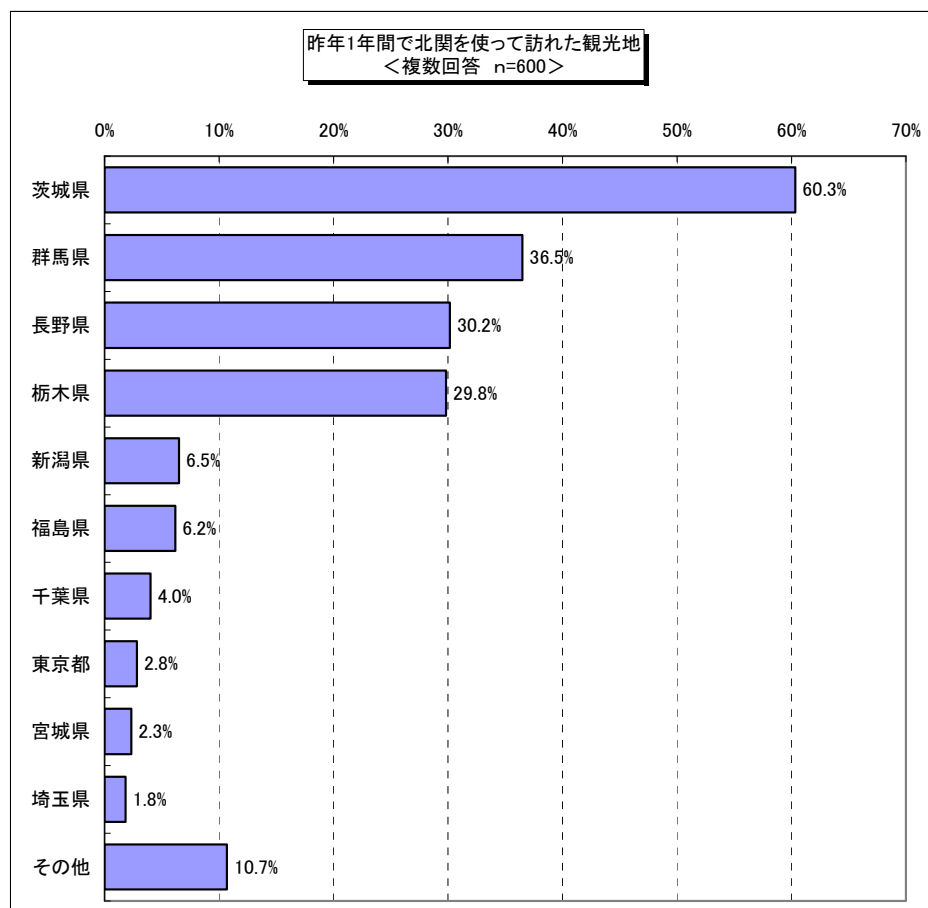
7. 今後、圏央道（首都圏中央連絡自動車道）が全線開通した場合の北関東道の利用状況

- 今後、圏央道が全線開通した場合の北関東道の利用状況について、これまでと「変わらない」とする回答が73.3%となった。また、「増加する」と回答した企業も25.9%と、4社に1社は今まで以上に北関東道の利用が増えるとみている。
- 地域別では、特に「群馬県」（33.8%）、「茨城県」（30.2%）で「増加する」割合が高い。
- 業種別では、製造業、非製造業の「中小企業」で「増加する」割合が高い。

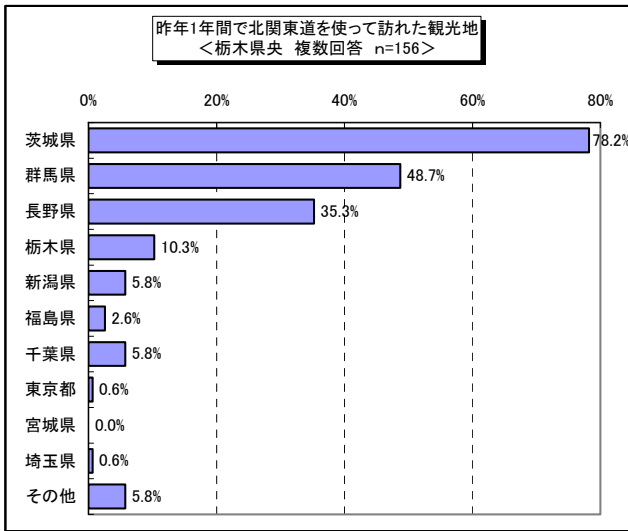


8. 昨年1年間で北関東道を使って訪れた観光地（回答者個人への質問）

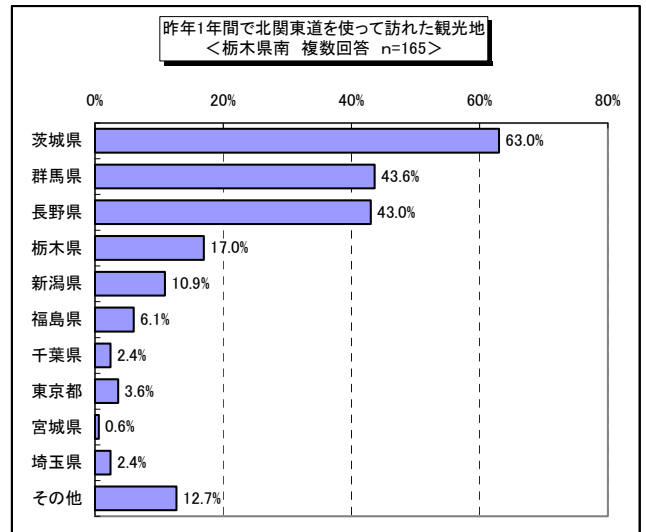
- アンケート回答者個人に対して、昨年1年間に北関東道を使って訪れた観光地を聞いたところ、「茨城県」が60.3%と最も多く、次いで「群馬県」（36.5%）、「長野県」（30.2%）、「栃木県」（29.8%）となった。
- 具体的な観光地名は、「茨城県」では「大洗」「那珂湊おさかな市場」「ひたち海浜公園」「笠間稲荷神社」など、海岸沿いの観光地が多かった。
- 「群馬県」では、「伊香保温泉」「草津温泉」「水上温泉」「四万温泉」「赤城山」など、温泉地が多かった。
- 「長野県」では、「軽井沢」「松本城」「信州」「白馬」など、避暑地や北アルプス方面の地名が多かった。
- 「栃木県」では、「日光」「那須」「足利」「宇都宮」「鬼怒川」「栃木」「益子」などの観光地名が多かった。
- 他にも、「新潟県」や「宮城県」、「福島県」など関越道や東北道、常磐道を北関東道とつないで訪れている地名も多くみられた。



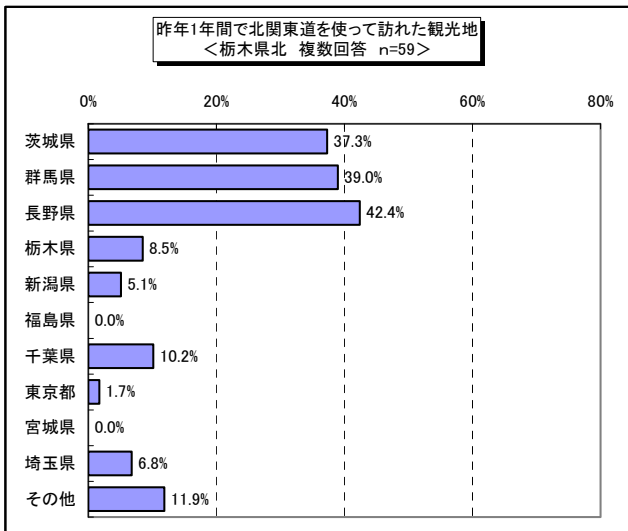
■ 栃木県央・・・茨城、群馬、長野へ



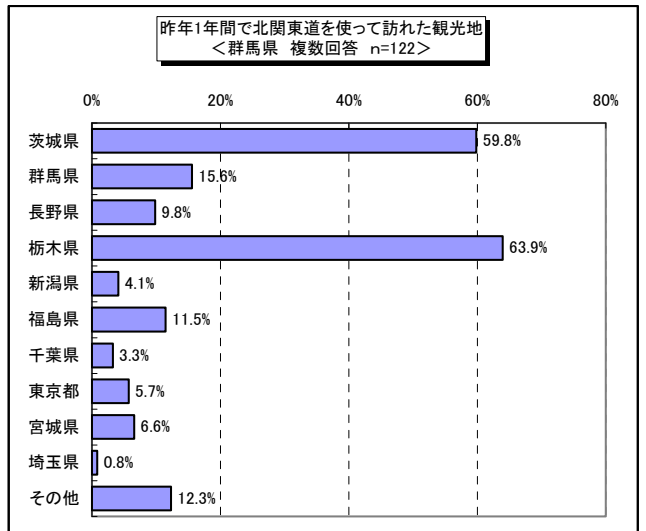
■ 栃木県南・・・茨城、群馬、長野へ



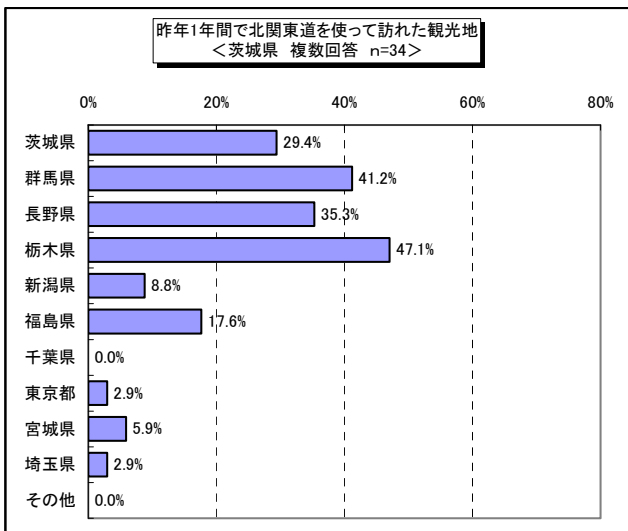
■ 栃木県北・・・長野、群馬、茨城へ



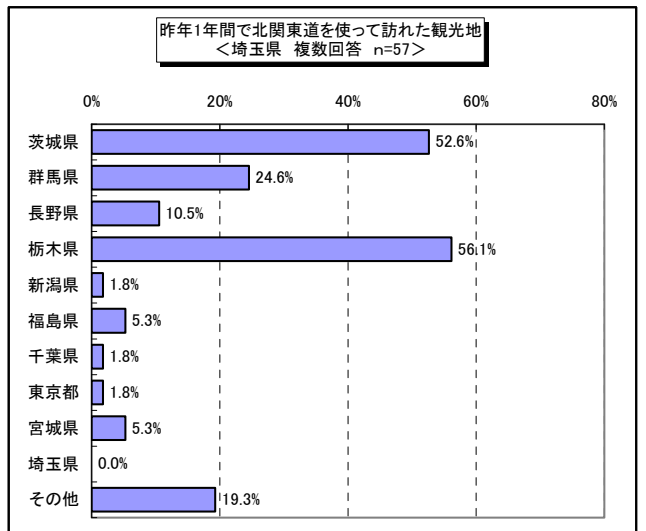
■ 群馬県・・・栃木、茨城へ



■ 茨城県・・・栃木、群馬、長野へ



■ 埼玉県・・・栃木、茨城へ



以上